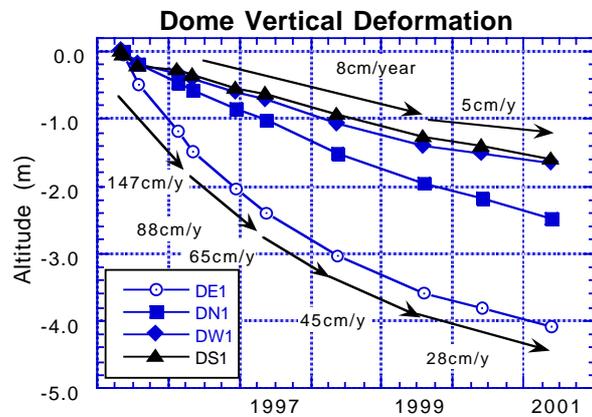
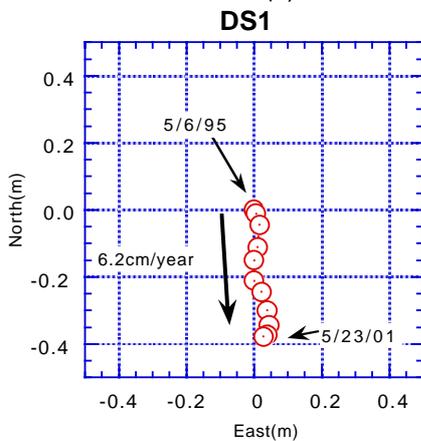
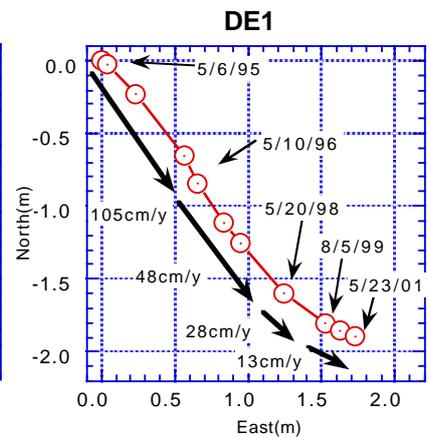
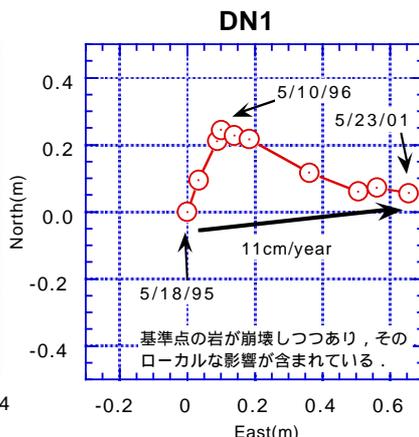
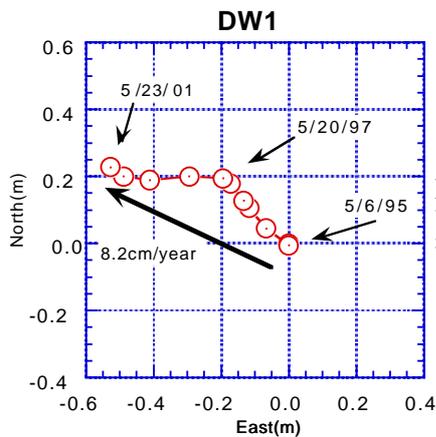
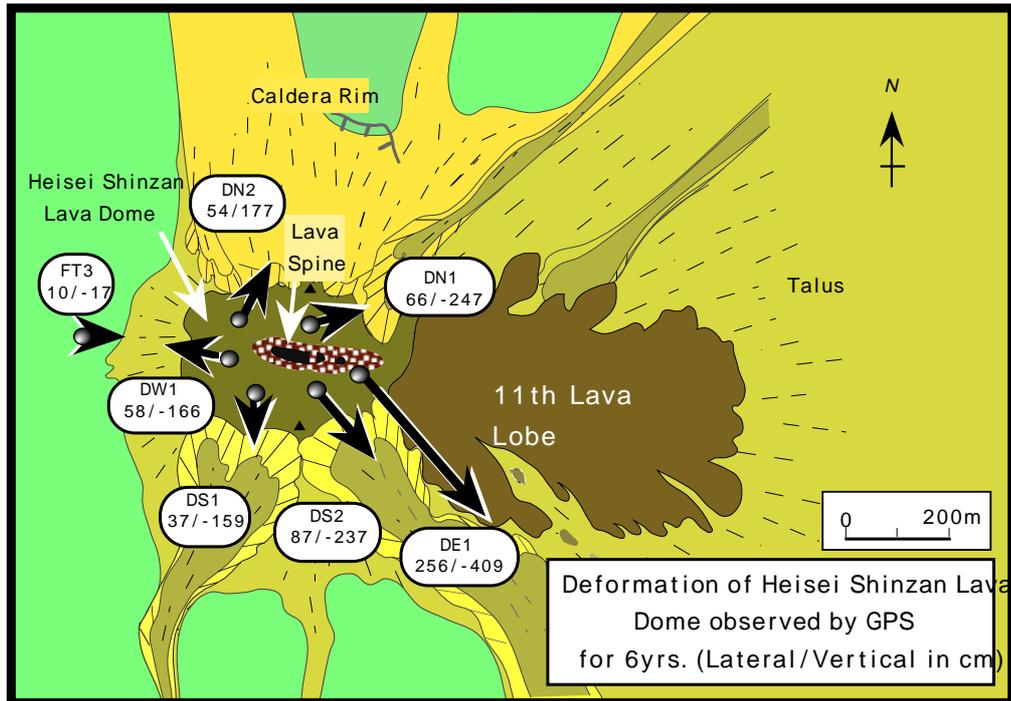


GPS測量による平成新山ドームの変形

九州大学地震火山観測研究センター



1995年の測定開始以来、平成新山溶岩ドームは中央のスパインから放射状に広がりながら沈降を続けている。特にドームの東側はその速度が3倍大きい。しかし、その移動速度は順調に小さくなっている。溶岩ドームの西麓の旧山体付近(FT3)はわずかながらドーム側に変位しながら沈降している。これはドーム下の火道やマグマ溜まりの収縮による変位と考えられる。